



経験
プラス
刷新力

充実!! 「福祉・障害者施策」
「スポーツ・教育・国際交流」
「安心・安全・医療」

石川県議会議員

ひもの 義昭よしあき

2024年
ひもの通信
盛夏号

プロフィール

昭和30年9月9日金沢市内で生まれる。現在68歳。
地元の市立十一屋小学校、野田中学校、県立金沢泉丘高校から早稲田大学政経学部学ぶ。卒業後、森喜朗代議士の秘書となり、政治と地方議員の役割を学ぶ。「青年の政治参加」をスローガンに、昭和58年金沢市議会議員選挙に最年少記録27歳での初当選。
平成3年石川県議会議員に初当選、令和5年連続9期目当選。
家族は妻と2人家族。(長男、次男夫婦独立)
平成20年、第89代石川県議会議員に就任。これまでに、県監査委員などを務めた。現在は日韓友好促進議員連盟会長、自民党では石川県連幹事長。過去に、副会長、幹事長、政調会長、組織広報本部長、青年局長などを務める。

- 現在のおもな役職(抜粋)
- 石川県都市計画審議会委員
 - 石川県音楽文化協会常任理事
 - 石川県障害者スポーツ協会 会長
 - 日本保育協会石川県支部・日本保育推進連盟顧問
 - 金沢自衛隊友の会顧問
 - 石川県サッカー協会顧問
 - 石川県山岳・スポーツライミング協会 特別顧問
 - いしかわ観光振興議員懇話会 会長
 - 石川県山林協会理事
 - 金沢日曜野球連盟顧問
 - 金沢保護司会理事
 - 石川県馬事振興協会 会長
 - 石川県調理師会顧問
 - 平和町連合町会相談役



よしあき
ひもの義昭事務所
〒921-8116 金沢市泉野出町2丁目7-18
☎076-241-7744
[FAX] 076-241-4764 info@himonoyoshiaki.jp

https://www.facebook.com/himonoyoshiaki
ホームページはコチラから▶ ひもの義昭 | 検索



住んで良かった、これからも住み続けたいと思える街に!
**「石川・金沢」の発展に
「経験と刷新力」を活かして、
全力で頑張ります!!**



再選を目指す小森たくお代議士と

能登半島地震からはや半年以上がたちました。石川県では国の大きな支援を得て馳知事を先頭に懸命に取り組んでいますが、復旧・復興には長い時間がかかると思われ、改めて被害の甚大さが窺われます。今なお苦勞されている方々がいらっしゃいますが、全県民が我が事のように思いを馳せなければなりません。共に頑張らねば。国民から自民党への厳しい声はなかなか収まらず低空飛行が続く岸田内閣は、衆院解散・総選挙のタイミングも失ったように見えます。石川1区(金沢市)で戦う現職小森卓郎代議士の再選に向けて、私も全力で頑張りますので、ご理解とご指導の程宜しくお願い申し上げます。

石川県議会議員
ひもの義昭

どんな小さな声でも 必ず県政に届けます!

皆様のご意見、ご要望を私にお伝えください。
県議会議員選挙では、力いっぱい訴えました。



令和6年2月定例会予算委員会質疑

学校給食の全国一律無償化実現を!

貧困対策、食育、子供たちの健やかな成長、もちろん少子化対策にも学校給食は必要。小中学校は義務教育であり、物価高騰、厳しい財政の折でも、多くの自治体が負担しています。馳知事は私の議会質問に応じて、全国知事会等で無償化について発言、すでに文部科学省でも全国実態調査を行いました。1日も早い全国一律の制度化が待たれます。

公営住宅に若者世代の入居を!

県、市営住宅では高齢化、独居化が進み、障がいのある方も多く入居しており、防災訓練や除雪、草むしり、運動会、盆踊りなど自治会活動を手伝ってくれる方が減っています。学生、新婚さんにも入居していただき、ぜひ町会コミュニティに参加してもらいたと思います。(県議会で馳知事に提言して、これまで「平和町団地」に4組の学生が受け入れられました)

これからも公約実現に全力で取り組みます!!



日本ダービーに招待していただきました(パドックにて5月26日)



NPO法人・禁煙ねっと石川の総会にて会員の皆さんと



石川県建協会懇親会・小間井会長らと



関東ラグビーフットボール協会創立100周年記念式典にて森喜朗先生と



台湾台中市のライオンズクラブの皆さんと交流



地元の皆さんとの「県政ご意見を伺う会」において

皆さんの真心に感謝!
ひもの義昭県政報告会・
能登半島地震復興支援
チャリティー懇親会(4月9日)



200名を超える皆さんに県政報告を行いました



ゲストの保科有里さん、太平まさひこさんと

第39回 トロピカーナ・ビアパーティ

日時 令和6年7月31日(水) 午後6時30分~ 会場 金沢東急ホテル



これまで県議会議員として**最多の9期33年間**、県議会**最多の113回質問(本会議場)**に立ち、**知事をはじめ執行部に提案、実行を求めてきました。**



能登半島地震 義援金
全国南LC友好会
(北國新聞社に寄託)

南と名の付くライオンズクラブ(LC)でつくる全国南LC友好会からは457万6500円を寄託し、姉妹提携クラブ・京都南など20クラブに加え、東京江戸川南と姉妹提携クラブ台南市赤坂会が善意を寄せました。

ガンバレ石川、負けるな能登!

私もすでに何回か現地を訪れましたが、特に被害の大きかった輪島や珠洲市では、まだまだ多くの方が厳しい状況にあると聞きます。水道も来ていないところもあり、倒壊住宅の公費解体はこれからです。多くの方々が早く故郷に戻って、仮設住宅に入れることを望んでいます。それが足りていない状況です。石川県は復旧、復興に当たり「創造的復興」を掲げ、この際に福祉や過疎対策の課題などを一気に解決、推し進めようとしています。まさに「**災い転じて福となす**」です。町々や人々に再び笑顔が戻るよう、石川県に住むものとして支援金やボランティアなど、できることを精いっぱいやっていこうではありませんか。



あまりの酷さに、しばし呆然と立ち尽くしました(輪島市内中心部)

自民党石川県連復興本部
公費解体、応援職員支援を要請

6月3日に内灘、志賀、羽咋、宝達志水、かほく、津幡の6市町の幹部とそれぞれ懇談し、国や県への要望を聞き取り、市町から液化化対策や公費解体の進展、応援職員の派遣を望む声が強いとして早急な対応を馳知事に訴えた。事務局長の焼田宏明県連総務会長は、「震災対応で疲弊している。自治体の声を吸収して施策に反映してほしい」と求め、馳知事は任期付き県職員の採用などを通して各市町への支援を進めていく考えを示した。

馳知事と共に



6月県議会修了後知事あいさつ



県地域密着ケア連絡協議会の陳情



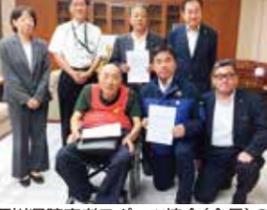
石川県スポーツ功労者表彰いただきました



パリオリンピック水球競技の新田選手らと



石川県私学連合会の知事陳情に立ち会う



石川県障害者スポーツ協会(会長)の新社会福祉会館についての要望



県サッカー協会(顧問)なでしこジャパン池田監督の知事表敬に同行



石川県宅建協会(顧問)地震義援金を知事に



要望	新 私立専修学校の教育環境の充実 2,100(千円) 実践的な職業教育課程の実施への支援
議会質問	拡 消防団員の理解促進と団員確保に向けた取り組み 1,500円(千円) 企業との連携、女性消防団活性化研修会の開催、児童生徒向けPR
要望	新 のと鉄道に対する沿線市町と連携した支援 182,000(千円) 安全運行対策のための基金の追加造成など
議会質問	新 誰もがスポーツに親しむ環境づくりとスポーツの裾野拡大 17,100(千円) 日本オリンピック委員会との連携、パラスポーツ向け能力測定会の開催、生涯スポーツ等の普及支援、南加賀でのアーバンスポーツの体験イベントの開催など
議会質問	新 競技力向上に向けたスポーツコーチの養成 2,870(千円) 最新のコーチング理論を学ぶ講座の開催支援
議会質問	新 金沢産業技術専門校の建て替えに向けた検討 8,000(千円) 基本構想の策定

議会質問	新 金沢港の貨物拠点としての利用促進 2,000(千円) 輸出入用コンテナの複数企業共用による輸送効率化の検討
議会質問	新 農地の引き受けに取り組む担い手への支援(いしかわ農業参入支援ファンド) 56,000(千円) 生産コストの増加等が見込まれる能登6市町での震災特例制度の創設
議会質問	継 千里浜海岸の砂浜再生 174,050(千円) 浚渫砂を活用した海上投入、陸上からの養浜など
議会質問	継 GIGAスクール構想の推進 10,411(千円) 小・中学校段階の1人1台端末の計画的な更新
議会質問	新 教員確保対策の充実 2,000(千円) 潜在教員の掘り起こしに向けた説明会等の実施など
議会質問	新 教職員の多忙化改善の推進 30,539(千円) 教頭を補佐する教頭マネジメントと支援員のモデル配置

6月定例議会において 補正予算が可決されました。

もちろん私だけの力ではありませんが、左記は主要施策の内、私がかつて強く関わってきたもの、これまで県議会の質問などによって執行部に対して対応を求めたものの中から、新規、拡充、継続となった主な予算項目です。なお数字は事業総額を表しています。

令和6年2月定例当初議会 予算委員会

震災復興・想像的復興の見解を聞く

創造的復興について

人口減少や少子高齢化を見据えてのコンパクトシティへの見解は

◎知事 能登ブランドの高付加価値化を図り、心の豊かさを求める時代にふさわしい魅力を高めることが創造的復興。災害に強い、魅力的な街づくりが不可欠であり、過疎や高齢化の歯止めにも繋がる

能登の多彩な文化や特性が失われないようにしなければならぬ

奥能登の公立病院について

能登空港で機能集約を図れば、復興の象徴となる

◎知事 市町や大学などの関係者と問題意識や意思疎通を図り、次の段階として病院の集約を含めた医療体制の強化を検討する必要がある。新年度設置する検討会で、具体策の検討を進める

奥能登2市2町の地域住民の意見を基に議論を深めることが重要。コンパクトシティを念頭に、日本航空高校と隣接するこの地域で安全で快適な住宅開発を行うなど人口流出を防ぐ大胆な施策が必要